

城山に漂う春の香り

坂田城跡梅まつり

2月22日から3月15日まで、坂田城跡の梅林では町観光協会主催で、坂田の梅林組合や町商工会の協力により「坂田城跡梅まつり」が開催され、町内外から約6,000人が訪れました。期間中は、週末になると雨が降り、梅の開花も進みませんでした。後半になると天候も安定し、一気に満開になりました。純白の梅の花が一斉に咲きそろい、あたり一面に広がった梅の花の香りは、訪れた人を和ませました。

また、梅林組合の売店では梅の加工品を求め、連日たくさんの方々が賑わいました。



町の魅力発見！ 観光フォトコンテスト

町観光協会では、観光PRのためフォトコンテストを行いました。町内外から44点の応募があり、3月5日に審査会が行われ、花澤徳子さん(山武市)の「鬼来迎・釜入れ」が最優秀賞に輝きました。19日の表彰式では、千葉県読売写真クラブ顧問の飯田樹審査員から、「横芝光町の魅力が伝わるすばらしい作品が数多くあり、町の魅力が再発見できた。」とのお言葉をいただきました。

また、2月6日から3月1日まで図書館に展示された応募作品は、来館者による投票が行われ、椎名高正さん(坂田)の「総武本線栗山橋梁を通過する特急しおさい1号」が投票数No.1賞となりました。

●審査結果

・最優秀賞

花澤 徳子さん(山武市)
「鬼来迎・釜入れ」

・特別賞(観光協会長賞)

齋藤とし子さん(鳥喰下)
「よこぴーと、はいポーズ」

・優秀賞

浅野 孝男さん(三本松)
伊橋 健さん(原方)
椎名 高正さん(坂田)
坂本 洸さん(匝瑳市)
大木 きよさん(東町)



◀鬼来迎・釜入れ

▶よこぴーと、はいポーズ



◀総武本線栗山橋梁を通過する特急しおさい1号



栗山川漁業協同組合によると、昨年に遡上してきたサケの捕獲数は335尾でした。

3月10日、サケ稚魚放流式を行い、応募があつた小学生や地元ロータリークラブなど約140人が、大事に育てた稚魚約13万匹を放流しました。放たれた稚魚たちは、小学生の「元気に帰ってきてね。」という声に送られて、栗山川から大海へと旅立ちました。

4年後の遡上を願って

サケ稚魚放流式